

# デザイン学科2回生の皆さんへ

2019.4.9 デザイン学科 長嶋洋一

領域分けが視野に入り専門性が高まってきたデザイン学科2回生の皆さん、デザイン学部の学生委員として、私は皆さんを支援しています。去年の4月に「一度1106研究室に来て話をしよう」と呼びかけたところ約25人が来てくれましたが、新学期というきっかけで、再びアポをとって話をしてみたい人を歓迎します。もう履修登録の相談は不要でしょうが、進路や領域についての不安、いまいち不調で新学期から下宿に引き籠りそうで心配、などの相談にいつでも乗ります。[ [nagasm@suac.ac.jp](mailto:nagasm@suac.ac.jp) ]宛のメールでまずアポを取ってから来て下さい。私の予定は常に [ <http://nagasm.org/1106/schedule.html> ]で世界に公開しています。

2015年にSUACデザイン学部はそれまでの3学科体制から1学科(領域制)になりました。当初は映像教員1名・グラフィック教員2名と少数だったため、当時のデザイン学部長の強い要請で、本来であればインタラクティブ領域に属する筈の長嶋も加わったビジュアルサウンド領域となりました(今年の新入生から長嶋はインタラクティブ領域の教員です)。長嶋の専門はサウンドと共にインタラクティブなシステムデザインなので、皆さんの学年までは、3回生後期「総合演習I」4回生前期「総合演習II」4回生後期「卒業制作」の「ゼミ」に関する特例措置として、ビジュアルサウンド領域とインタラクティブ領域の両方の学生が「長嶋ゼミ」に所属できる(単位を取れる)という運用がデザイン学部として了承されており、両方の領域の学生と院生をゼミで指導してきました。

私の講義は前期金曜1限「サウンドデザイン」からです。私の専門はインタラクティブなメディアアートやコンピュータ音楽で、皆さんの学年までは「ビジュアルサウンド」領域に属していますが、上記のような背景があり「インタラクティブ領域」科目も担当し、両方に重複しています。「サウンドデザイン」は以下のような科目ですので、インタラクティブな作品(裏面)に興味ある学生はぜひ、受講してみてください。

2回生前期専門科目「サウンドデザイン」(長嶋)は、サウンドメディアとアルゴリズムを学ぶ科目で、「ビジュアルサウンド領域」または「インタラクティブ領域」に進みたい学生を主対象とします。なお、後期専門科目「インタラクティブプロダクト演習[楽器を作る]」(インタラクティブ領域教員+長嶋も担当)において色々なサウンドを生成するためには、この受講がとても有効となるので特に推奨します。それ以外(領域/学年)で履修希望の学生は、マルチメディア室の定員を超過しない範囲で受講を受け入れますが、事前にアポを入れて相談して下さい。なお、この科目の内容は膨大で課題もあり、長嶋担当科目の2回生後期「メディア数理造形演習」と3回生前期「音楽情報科学」まで積み上げて学んでいきますので、「音楽が好き」程度の軽い動機での他領域/他学年の学生の履修は推奨しません。

初日は4月12日(金)の1限からいきなり本論に入ります。冒頭から遅れずに南棟4階東端のマルチメディア室に来て下さい。この演習室(SUAC唯一のMac部屋)に特有の使い方も講習します。講義の中ではメディアとしてのサウンドに関する色々な扱い(お手軽作曲)とともに、後期科目に繋がる「プログラミング」(リアルタイム・アニメーションの生成)の体験と理解に比重を置きます。

以上